

◆◆◆◆◆  
**山田 政幸 議員**  
◆◆◆◆◆



**少子高齢化に向けた  
村の対応策を問う**

**質** 子どもを安心して生み育てる環境整備、また健やかに育てるための社会の現実に向けた取り組みへの少子化・子育て支援の対応策について伺います。

**答 福祉健康課長 新里勝弘**

子ども・子育て制度を活用して、地域型保育事業の、保育所の環境の充実、妊産婦及び新生児の訪問事業など、安心して子育てのできる環境を整備、子ども医療助成制度の通院の拡充で保険適用の部分、全て中学校までは医療費が無料、プレミアム券を多子世帯の保

護者に交付する恩納村多子世帯子育て支援事業を実施します。

**質** 国は介護保険財政の膨張を抑えるために、施設から在宅介護への移動を進めています。家族が介護の為に働けない経済的損失は、施設にあずける、在宅介護サービスよりコストが高いという事が分かっております。本村での医療・介護費用を負担する家族に対しての負担軽減はないですか。

**答 福祉健康課長 新里勝弘**

現在、本村では介護用品の支給、老人福祉医療助成金によるオムツの支給、在宅で介護している家族へ手当など、軽減策を講じてます。認知症に特化した部分で言うと在宅で介護している家族へ日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思の疎通の困難の方々、家族に手当を支給しているところでありませぬ。

**喜瀬武原区と安富祖  
保育所に通じる里道  
の整備について問う**

**質** 村道喜瀬武原線は40数年前は

喜瀬武原区から安富祖小中学校への通学路としても利用された里道でした。現在は安富祖保育所への通園の送迎、また58号線へのアフセス道路として地域住民が利用しており、安富祖区の災害避難所として防災の指定区域箇所でもあります。現在の村道としての状況と将来の利用計画も含めた整備はできないか伺います。

**答 建設課長 比嘉正彦**

村道喜瀬武原線は、昭和57年に村道に認定され全長は約2.5kmあり、そのうちの80mが今、砂り道になっております。以前にもその部分については調査したんですけど、一部の土地がゴルフ場から道路を横たわって用地交渉したんですけど理解が得られなくて道路整備を断念した経緯があります。

**恩納村立小中学校統  
合の現状を問う**

**質** 中学校統合に向けては以前より話し合いがもたれ、アンケート調査も実施され、当初では、7年

計画の説明だと覚えてますが現在の進捗状況と今後の見通し計画も含めどう進めて行くかを伺います。

**答 学校教育課長 石川 司**

進捗状況については現在、建設候補地選定委員会において昨日報告書がありましたので最終の確認をやつていきたい。今後の見通し計画ですが建設候補地選定報告書が完成した後、9月以降に議会、村民、各学校単位での保護者説明会を開催したい、また併せて中学校統合に係る事業費の財源的計画、関係省庁との協議・調整作業、あと職員体制の整備等の要請を計画し、平成31年度以降の開校を想定しております。最後に近年、統合を実施した市町村から情報収集も踏まえ各学校、PTA及び地域と協議・調整を行ないながら進めていきたいと考えております。

建設候補地選定委員会の構成委員(14名)

- \* 庁内の各課長6名
- \* 村PTA連合会会長
- \* 各学校PTA会長
- \* 区長会会長
- \* 校長会会長

◆◆◆◆◆  
**吉山盛次郎 議員**  
◆◆◆◆◆



**砂防ダム(山田、真  
栄田、塩屋、宇加  
地)の建設について**

**質** 真栄田だけでなく塩屋、宇加地についてどういう状況か伺いたい。

**答 農林水産課長 佐渡山安正**

県営水質保全対策事業で山田

から美留の地区です。事業計画の中で砂防ダムはございませぬ。沈砂池となります。

**質** 多目的な農業を考えると水が必要。そのメニューとして赤土を流さないことであるけれど漁業、観光にも効果がある。これは農家においてもそれを利用した配水、農業の振興に寄与する。村民に受益をできるようなメニューを取つてうまく流していく方法がないですか。

**答 農林水産課長 佐渡山安正**

15年前に山田から宇加地地区までを県営で灌漑排水事業計画が断念した経緯がございます。地区別に今後は灌漑排水事業を導入した方が安定的な水の確保に繋がると思っています。

**福祉行政について**

**質** 生存に必要な最低限の収入も得られない絶対的貧困率、生活保護の中の最低基準に達しない割合はどれくらい存在するののか。

**答 福祉健康課長 新里勝弘**

総所得が33万円以下で7割軽減を受けている被保険者が1千328名、85世帯。高齢者の年金受給者が含まれている。5割軽減が10万5千円以下で398世帯で95名、生活保護の水準にも達しない絶対的貧困者がいるのではないかと推測されると思えます。

**答 福祉健康課長 新里勝弘**

区長と地域、民生委員との連携、社会福祉協議会の連携です。社会福祉協議会は26年度フードバンクを立ち上げ貧困世帯への食糧支援を行っています。また、4月から美里に県が地域生活支援センターを設置し高齢者世帯や貧困者の孤立防止や相談を受け付け社会福祉協議会が関係機関を連携し、支援に繋がる新しい取り組みを始めております。

**質** 役場としては、地域の力をどう考えています。

**答 福祉健康課長 新里勝弘**

**小中学生の学力向上  
について**

**質** 小中学生の学力向上を旨に村内教職員の県外研修実施されました。その成果を伺います。又、学力以外の研修効果も、もたらされているのか

**答 学校教育課長 石川 司**

区長、民生委員と地域の協力を頂いてセフティーネットの体制を強化してまいります。

全国学力状況調査において小学校はほとんど県平均以上。中学校において、とても大きな飛躍が見られました。教科によっては県に並んでいる状況も見えます。教職員の派遣型をしていたが、今招へい型で先生方を呼んで様々な方法で村内の先生方にスキルアップのために進んでいる。学力以外の効果は、24年に福岡県へ派遣した先生の報告書から生活面からの学習姿勢の定着が伺えたこと報告された。学力向上と生活指導と生活習慣の指導も表裏一体だと日々学校での指導を行っている。